

～読んでみない？こんな本～

かえでがおか農場のいちねん

アリス&マーティン・プロベンセン作 きしだえりこ訳 ほるぷ出版



“これは、いちねんかんの のうじょうの くらしや、どうぶつたちのことをかいた ほんです。”という文章で始まるこの本は、1月から12月までの説明と、その月ごとの農場や動物たちの様子を教えてくれます。

かえでがおか農場にはいろいろな動物がいます。農場にはその月ごとにやることがあって、子ども達も手伝って過ごします。動物たちも季節のことは知っていて、その季節ごとにやることをちゃんとわかっているので、3月になれば子うまや子ねこが生まれ、4月には鳥たちが卵を産み、5月には動物たちは重い毛皮のコートを脱ぎます。夏の暑さや秋のすばらしい時を過ごし、また冬が巡ってきて動物たちが納屋で過ごすための準備をして新年を迎えます。

農場では自然の移り変わりと共に動物たちの営みや人々の暮らしがあり、春を待ちどうしく思う気持ちや、夏のうだるような暑さをやり過ごしている様子などが率直に語られ、読み終わると、かえでがおか農場で過ごしたように農場の様子が何もかも分かります。

自然と共に心地よい雰囲気は子どもたちにも伝わると思いますので、他の「かえでがおか農場のなかまたち」「みみずくと3びきのこねこ」と共に楽しんでみてはいかがでしょうか。